| 学校番号 | 3010 |
|---|---|

# 令和３年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 現代文Ａ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「新編現代文Ａ」（第一学習社） | | | | | | |
| 副教材等 | 書いて覚える漢字練習ノート（京都書房） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・多くの作品、言葉に触れる機会を設け、語彙力の向上を図る。
・文学として味わえるような豊かな心を育成する。
・漢字ワークを自学自習しながら、小テストで漢字の習得度を確認する。
・自ら考え、それを的確に伝えられるようにする。

## 2　学習の到達目標

・社会人として必要な国語力の基礎を構築する。
・文学を味わう心を育成する。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:話す・聞く能力 | c:書く能力 | d:読む能力 | e:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 国語で伝え合う力を進んで高めるともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。 | 目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 | 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 | 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 | 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている |
| 評価方法 | 行動の観察<br>記述の点検（ノート、ワークシート） | 行動の観察（発表等のパフォーマンスの評価） | 記述の確認及び分析（ノート、ワークシート、原稿用紙） | 記述の確認及び分析（ノート、ワークシート）<br>定期考査 | 行動の観察<br>記述の点検（ノート、ワークシート）<br>定期考査 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | e | | |
| 一学期 | 小説を読む一・三 | 教材:<br>小説「デューク」 | ○ | | ○ | ◎ | ○ | a:身近な動物の死を乗り越えて進む姿を学ばせる。主人公の心の傷、気持ちが、動物の愛によって癒されてゆく過程の描写を読み解くことで、親愛の情について考察させる。本作品の本文から滲み出る温かみを意識することができているか。活字の与える印象について考察できているか。<br>c:作者の物語に込めた意図を考察し、記述できているか。<br>d:本文に用いられている言葉の意味や効果、配置を確かめながら小説の言語表現を深く味わっているか。<br>e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解しているか。正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしているか。 | a:<br>行動の観察及び記述の点検<br><br>c、d、e:<br>記述の確認と分析及び定期考査 |
| | | 教材:<br>小説「鼻」 | ○ | | | ◎ | ○ | a:作品を通して、自己分析の契機とできているか。本文の内容を、自身の長所、短所の捉え方、多角的な自己分析に活用できているか。<br>d:文章に書かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、味わえているか。用いられている表現を考察することに加えて、自身を物語の中に投影できているか。<br>e:歴史的背景を理解した上で作品を読み取れているか。稚拙且つ繊細な大人の自尊心を理解できているか。 | a:<br>行動の観察及び記述の点検<br><br>d、e:<br>記述の確認と分析及び定期考査 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 二学期 | 小説を読む四 | 教材:「ひよこの眼」 | ○ | | | ○ | ◎ | a:人物の変化について想像力を働かせ考察できているか。会話劇の中で多くの登場人物が現れ、多くの状況が描写されている。その小説の中の世界に没入し、主人公とのやりとりを想像できているか。心境の変化について考察されているか。作中の空気感を感じようとする姿勢がみえるか。<br>d:文章に書かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、味わえているか。用いられている表現を考察することに加えて、自身を物語の中に投影できているか。<br>e:表現の特色を理解しているか。物語の終わり方について、伏線を咀嚼し、理解できているか。状況の違いに伴う、言葉の取捨選択について学べているか。 | a:<br>記述の点検と確認<br>d、e:<br>記述の確認と分析及び定期考査 |
| | 小説を読む三 | 教材:「こころ」 | ◎ | ○ | | ○ | ○ | a:入試等で頻出する作品であることを明示し、取り組ませる。難解な文章から深みを感じ取り、「文学を味わう」という感覚を育成する。読み解いた先の、充実感、独特の読後感を得ることができているか。生徒が文章読解力の成長を実感することができているか。また、不十分な点についての再学習に意欲的に取り組んでいるか。<br>b:結末に対する様々な意見を、多角的に検証することができているか。<br>d:表出する表現だけでなく、言葉の真なる意図を読み取れているか。口語的ナレーションの意図に気付くことができているか。人物、情景、心情などが捉えられているか。<br>e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解しているか。 | a、b:<br>行動の観察と確認<br>d、e:<br>記述の確認と分析及び定期考査 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 三学期 | 小説を読む六 | 教材:「山月記」 | ○ | | | ◎ | ○ | a:人物、情景、心情の描き方の特徴を理解し、象徴、予兆などにもたらしている効果に気付けているか。難解な漢語を理解するとともに、独特の文体の醸し出す雰囲気を味わえているか。作品のテーマを理解し、自身で咀嚼できているか。<br>d:文章中の表現が、象徴、予兆などに果たしている効果に気付けているか。漢文のもたらす効果について理解できているか。他人を思いやることと、自身の尊厳との狭間の機微を理解しようとする姿勢がみられるか。<br>e:文章の形態や、文体の違いによる特色について理解しているか。 | a:<br>行動の観察及び記述の点検<br><br>d、e:<br>記述の確認と分析及び定期考査 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力

d:読む能力　　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域(「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」)に関わる観点には◎印を付している。